

# モノづくり革新実践コンサルティング

～ジャストインタイム生産が「現場で実践できる」ようになる!～

## モノづくり革新実践コンサルティングの狙い

更なる生産性向上を図り多品種少量生産への対応など体質強化を図るために、生産現場において、次のことができるようになることを徹底指導します。

- ① 生産現場の問題点・取り組むべき課題の抽出ができます。
- ② 課題解決の方向を提示、現場において社員が課題解決を「実践できる」ようになります。
- ③ 生産現場での実践的なカイゼン指導を通じて、その考え方や方法が習得できます。
- ④ 社員の生産性向上に対する当事者意識の醸成ができます。
- ⑤ 生産現場革新の中心となるべきリーダーが養成できます。
- ⑥ リードタイムの短縮など生産性向上による収益構造の改善を図ることができます。

## モノづくり革新実践コンサルティングの特徴

### I. 現場の実状に合わせたプログラム

簡易診断においてお客様の風土も踏まえ現状把握をした上で、実状に合わせた指導の進め方を提供いたします。

### II. 実践に強いコンサルタントによる指導

生産現場において、迅速で、明白かつ客観的な成果をもたらすことを何よりも優先するコンサルタントによる指導です。

### III. 生産性向上に対する当事者意識の醸成による成功体験の蓄積

生産性向上が日々の仕事であるという認識を醸成するため、改善テーマの設定と改善の実行を短期間で繰り返すことで、成功体験を積み上げていただき、自信とやりがいを持たせることができます。



## ● モノづくり革新実践コンサルティングの進め方 ●

モノづくり革新を現場に定着させるために、「まずやってみる」を心がけ、大きく「見える化・5S運動」「流れ化運動」「作業カイゼン」を行います。

STEP

1

- ① 視察とインタビューによる簡易診断を実施し、生産革新のための課題を洗い出します。
- ② 経営者、管理者および事務局および推進メンバーとの課題の共有化を行いモノづくり革新のキックオフします。
- ③ 意識改革セミナーや現場巡回研修と課題のまとめと宿題(やるべき事)の提示を実施します。
- ④ 現場の“問題”(ムダ・ムリ・ムラ)を発見できるよう「正常」と「異常」を誰もがすぐ分かる現場づくり(「見える化・5S」)を実践します。

STEP

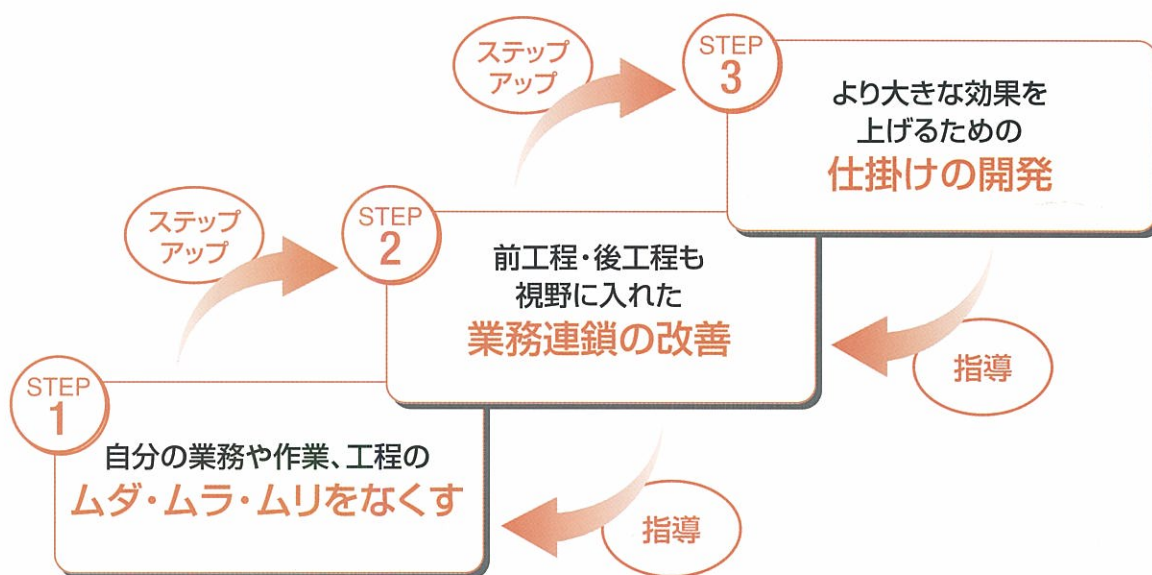
2

- ① さまざまな課題にコンサルタントと一緒に現場で取り組んでいく中で、課題に対する着眼点や解決に向けた基本的カイゼン方法・行動力などを習得します。
- ② 「停滞(時間)」に着目、これを限りなくゼロにするためのカイゼン活動を実践します。

STEP

3

社内から自発的な意見が出はじめ、自主的にカイゼン活動をするようになります。作業改善に加えて、ものづくりの仕組みの構築と改善を実施します。



その他

現場において即実践指導する「モノづくり革新実践コンサルティング」のほか、現場の問題点を客観的(科学的)に洗い出す「生産現場革新簡易診断」と「生産部門階層別教育」「IEやムダとりなど現場改善技法修得研修」などの個別の企業ニーズに合わせた教育研修も実施しています。

■ お問い合わせ ■

公益財団法人 関西生産性本部 経営革新部

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階

TEL: 06-6444-6464 FAX: 06-6444-6450

URL: <http://www.kpcnet.or.jp>